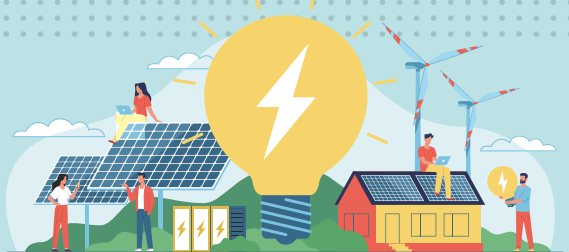


2 ゼロカーボン社会の推進



本市は、2020年（令和2年）12月にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロを達成するため、自然環境との調和を図りつつ、再エネ・省エネや省資源化の推進によるゼロカーボンシティの実現を目指しています。

今年度はその対策の一部として、

- ①EV（電気自動車など）の購入補助
- ②太陽光・蓄電池の設置補助
- ③先進的な脱炭素事業に対する補助
- ④地球温暖化対策実行計画 区域施策編（仮称）の策定

などを行うこととしています。

ゼロカーボンシティの実現のためには、市民一人一人による取り組みが非常に重要です。本市の現状に即した取り組みが実施できるよう、きめ細やかな支援を行いつつ、計画などの指針を整理し目指すべき方向性を示すことで、市民の皆さまがゼロカーボンシティの実現に向けて取り組みやすい環境づくりも行っています。

●ゼロカーボンシティ補助に関する問い合わせ＝市民生活課 ☎72 - 1356

今後、少子超高齢社会の進行は、福祉・介護などに関する社会保障費の増大、労働力の減少による経済縮小のほか、さまざまな分野における地域活力の低下につながる懸念されています。

これらを防止する対策の1つとして、本市の豊かな自然環境を生かし、すべての市民が健康で元気に暮らし、生涯を通じて活躍できるまちを目指します。健康寿命の延伸を目指し、市民一人一人が、健康づくりへの関心をさらに高め、「生活習慣の見直し」、「運動習慣の身につけ」、「定期的な健康診査受診」といった健康づくりのサイクルを回し、いきいきと生活していくことができる環境をつくりまします。

3 市民が100年健康でいきいき暮らせるまちの推進



～「豊かな自然と共存し みんなで創り育てる
多様性と持続性のまち」の実現に向けて～

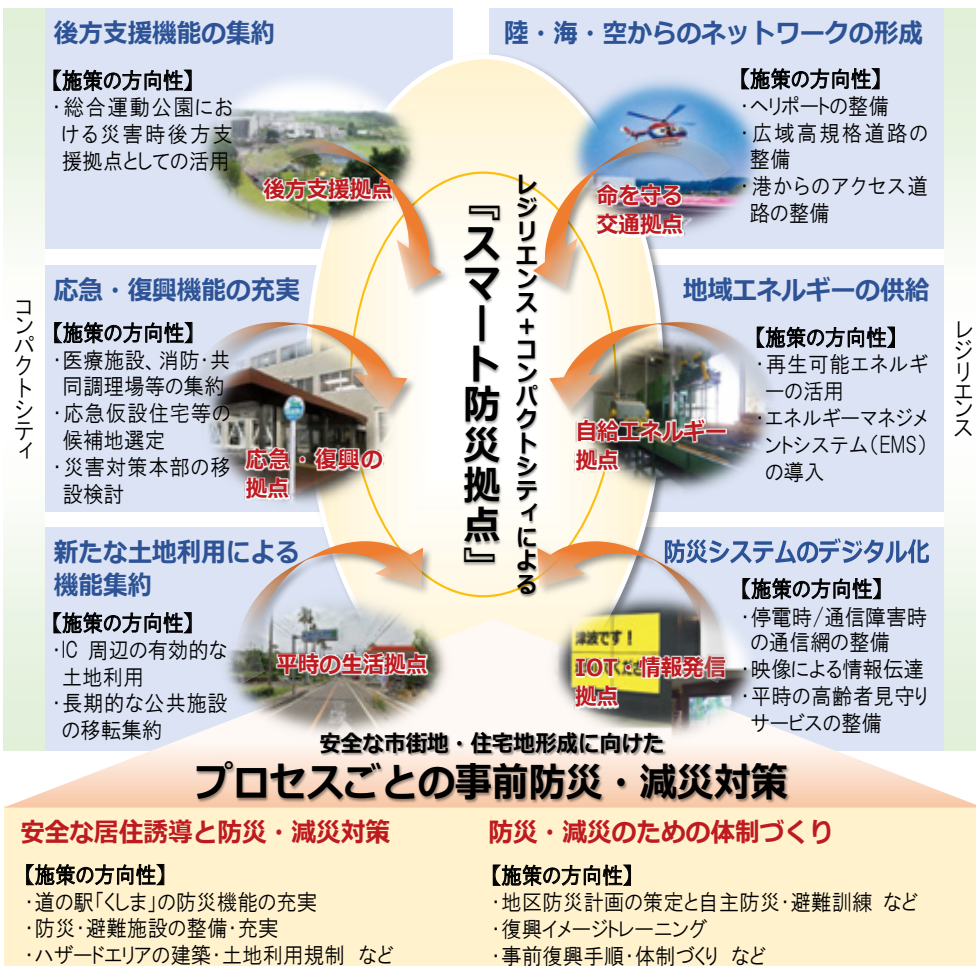
3 今後重点的に推進する 3本の施策を紹介します



1 串間市事前防災まちづくりの推進



【コンセプトイメージ】



近年、全国的な台風・ゲリラ豪雨などによる河川氾濫・土砂崩壊などの激甚災害が頻繁に発生する中、今後30年以内に発生する確率が70～80%である「南海トラフによる巨大地震」も想定されています。

このような大規模自然災害から事前に市民の生命財産を守るため、防災機能を有した施設整備、住民避難路の整備および東九州自動車道を活用した後方支援として、人・物の受け入れ体制の構築など、ハード・ソフト両面における事前防災まちづくりの基礎となる構想「串間市事前防災まちづくり構想」を、昨年度策定しました。

今年度は、現在、洪水浸水想定区域にある消防庁舎を災害時の消防活動が円滑に行えるよう、高台に移転するための基本計画を策定していきます。